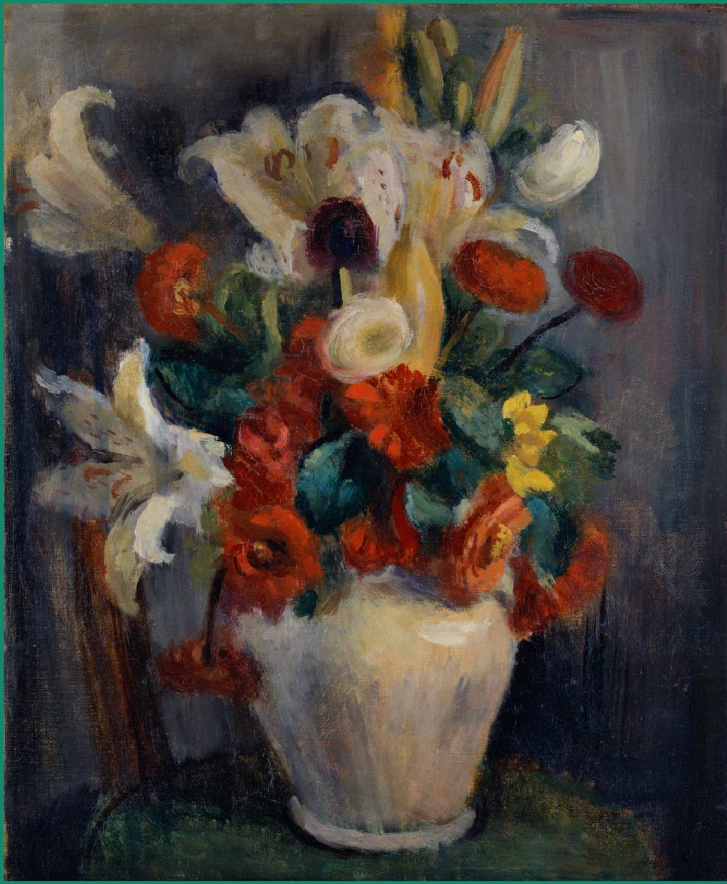


特別公開 《日本の四季》全6面

宮本三郎の

ビフォー・アフター

2023.3.25sat-6.18sun



《花》1932年頃



《百花繚乱》1970年頃

ギャラリートーク

4/8(土)、5/6(土)、6/3(土)
11:00～ 申し込み不要

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日
入館料 一般300円(20名以上の団体250円) 高校生以下無料

市内65歳以上を証明するもの(運転免許証等)の提示で免除
障がい者手帳持参者と同行者1人まで免除(ミライロIDアプリ提示免除)
*こまつミュージアムバス利用可

国際博物館の日 5/18(木)

入館者には
缶バッチもしくはマグネットをプレゼント

小松市立

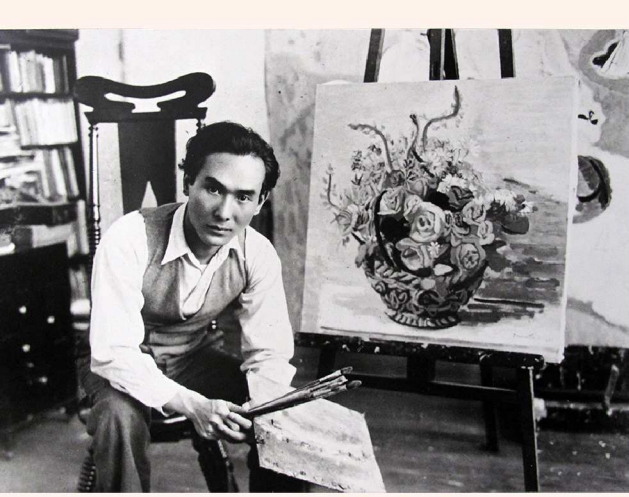


宮本三郎美術館

MIYAMOTO Saburo Museum

石川県小松市小馬出町5 TEL0761-20-3600

Before & After



宮本三郎は昭和前期、日本洋画壇にデビューしたごく始めからすでに何でも描ける画家として注目されていました。高い技術を身につけていたにもかかわらず、ひとつのスタイルが完成するとそれを壊しては、また次のスタイルへと絶えず変貌し続けました。その作風の変遷はとても一人の画家が描いたとは思えないほどに変化に富んだものでした。

本展では自他ともに宮本の画業が頂点に達したとされる2つの時期、1930年代に制作された作品をビフォー作品、そして1960年代～70年代にかけて制作された作品をアフター作品と位置づけ、同一モチーフのもとに比較してみました。するとそこには表現上の大きな相違が明らかに見て取れる反面、30年を超えても変わらなかった宮本の制作上での信念、絵画への思いを確認することになりました。

本展をとおして、日本独自の油彩画創造を目指した画家、そしてリアリストとしての画家の挑戦と創造に励んだ日々の姿をご覧いただけることでしょう。

企画展 **宮本三郎のビフォー・アフター**

小松市立宮本三郎美術館

特別公開 **《日本の四季》全6面**

令和5年3月25日(土)～6月18日(日)



《日本の四季「酪農」(春)》1945



宮本三郎ふるさと館

明日の表現を拓く

一宮本三郎記念デッサン大賞展の歩み一

*第6回までの受賞作品を公開中



7. 宮本三郎記念
デッサン大賞展

Komatsu Biennale 2023

作品募集

大賞 100万円

申込/締切 5/25*

明日の表現を拓く

